

市民力かわら版



矢板の魅力発信基地 「山の駅たかはら」

「山の駅たかはら」は、三滝巡りや、小間々・大間々へのハイキングコースの起点・休憩拠点として、また、売店、レストランが併設され、ロビーでは写真展や工芸展が随時開催されるなど、矢板の魅力の発信基地として年々利用者も増え、県外からの客も多い。館長の和気秀明さん（勤続七年目）にお話を伺った

福島からドクターヘリを呼んだり、交通事故で防災ヘリを要請したりと、色々なハプニングがあり、現場の判断が要求されることが多々あります。ツツジのシーズンにはお客様が集中し、コース案内があまり整備されていないので、質問攻めにあい大忙しです。皆さんに対応しなければならぬので、つい栃木弁も出て、あまり優しい口調じゃないかもしれません（笑）

どを行い、一般の方も大間々のトイレの掃除やゴミ拾いなどのボランティア活動をしてくれています。また、若者のツーリンググループがよく来ますが、なかには、ゴミを拾って、美化に協力してくれるグループがいたり、一年を通して、この近辺のツツジの群落を保全整備してくれるグループの活動もあり、多くのボランティアの方々に支えられています。

ツツジのシーズン以外にも客を呼び込む方法はあると思います。今すぐにも欲しいのは、雨天でも休憩できる東屋のような施設です。最近団体ハイキングのバスが多く来るようになりましたが、特に雨の屋時には館内だけでは収容しきれず、混雑して本当に困っています。

●さまざま役割を果たしている山の駅

山の駅はビジターセンターの役割を担っています。そして指定管理者として矢板市の観光PRを代行していると自負しています。

少しでも多くの方がここに来てもらえるよう、県外の観光会社へ資料を送ったり、仕事の合間を見つけては、周辺の草刈やメンテナンスに心掛けています。

また、この周辺は携帯電話が通じないので、いざというときの駆け込み寺にもなります。例えば、滝巡りのハイキング中に心筋梗塞になり、担架で運ぶことができないので



●ボランティア活動が活発化してきている

矢板岳友会では登山道の安全確保のために倒木の整理な

●少しずつ増えているお客様のために

私が勤め始めた七年前に比べると、観光客は一・五倍、ハイキング客は二倍ほどに増えていて感じがします。特に中高年が増えています。矢板のものをお土産にしたいという声も多く、もっと地元の名産品があればと思います。矢板はツツジで売っているもので、例えば「ツツジまんじゅう」を、誰か作ってくれないものかと思っています。

また、山の駅と道の駅、さらには城の湯とタイアップしたイベントを企画したり、ツ



※ビジターセンター
国立公園や国定公園などにおいて、その自然（地形・地質・動植物）などの情報を展示・解説し、公園の利用案内を行っている施設のこと。

営業時間は、四月～十一月は午前九時～午後四時、基本的に無休。十二月～三月は午前十時～午後三時、金・日のみ開店（売店・コーヒー・スノーシュー貸し出しのみ）